

## 【ねずみのようにコツコツと】

今年の子年。ねずみ年ですね。その年が何年かは、12の動物が決まっています。干支という考え方で、3000年以上前の中国で決められたお話です。「子丑虎卯辰巳午未申酉戌亥」。「子」とは、ねずみのことです。ねずみは、一番初めです。これにはお話があります。

神様が言いました。「その年がどの動物の年かは、1月1日に神様のお家についた順で決める。」そして、動物たちは一番を目指しました。

ねずみも一番を目指しました。ところが、暗い夜中のうちから牛が発しました。牛は、足が遅いので暗いうちから出発したのです。それを知ったねずみは、牛の背中に飛び乗りました。そして、牛は一番に神様のお家の前に着きました。しかし、早く着きすぎたから、神様のお家の門は閉まっていた。門が開いた瞬間に、ねずみは牛の背中から飛び降りて一等賞になってしまいました。だから、ねずみが最初の干支になりました。

猫は12の干支には入っていませんが、これにもねずみが関係しています。競走の日を忘れた猫が、ねずみにいつかを聞きました。ねずみは、「1月2日だよ」と嘘を教えたと言われています。

こんな話から、ねずみはずる賢いと言われることがあります。しかし、ねずみにはいいところもあります。いつも動き回っているので、働き者です。コツコツと頑張る動物でもあります。また、ねずみは、子供をたくさん産むので、豊かなくらしができるとも言われています。

今年、ねずみ年。ねずみのいいところをまねして、コツコツを頑張って豊かな1年にしましょう。